

作成日 2009/12/28
改訂日 2016/02/16

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	バスボンドQクリヤー
製品コード	171635katei
供給者の会社名称	コニシ株式会社
住所	大阪市中央区道修町1-7-1(北浜TNKビル)
担当部門	浦和研究所 研究開発第4部
電話番号(大阪営業推進部)	06-6228-2994
緊急連絡電話番号(夜間・休日)	090-7356-6462
推奨用途及び使用上の制限	浴室・洗面所のすき間の防水シール。浴槽・窓ガラス・洗面台・飼育用水槽・金属製配水管の継ぎ目シール。所定の用途以外には使用しないこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類	可燃性固体 区分外 自然発火性固体 区分外 自己発熱性化学品 区分外 水反応可燃性化学品 区分外 酸化性固体 区分外
健康有害性	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2A 皮膚感作性 区分1B 吸引性呼吸器有害性 区分外 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素 絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

警告
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H319 強い眼刺激

注意書き
安全対策

取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)
保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)

応急措置

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313)
本品の主たる有害性は加水分解によって徐々に生成するメチルエチルケトンオキシムに起因する。
蒸気吸入：未硬化物及びその蒸気は僅かに麻酔作用あり。
皮膚接触：未硬化物及びその蒸気は僅かに刺激性あり。
眼、粘膜接触：未硬化物及びその蒸気は僅かに刺激性あり。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	シリコーン系シーリング材

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
非晶質シリカ	5~10%	—	非公開	非公開	非公開
メチルエチルケトンオキシム	1%未満	—	(2)-546	既存	96-29-7
メチルオキシムシラン	1~5%	—	非公開	非公開	非公開
ビニルオキシムシラン	1%以下	—	非公開	非公開	非公開
アルコキシシラン	1%以下	—	非公開	非公開	非公開

分類に寄与する不純物及び安 情報なし

定化添加物

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及 シリカ（法令指定番号：312）（5%~10%）
び有害物（法第57条の2、
施行令第18条の2別表第9）

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。

多量の水と石鹼で洗うこと。

直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

直ちに医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

救助者は必要に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤

大量の水を放水する。水がないときは二酸化炭素、粉末消火剤あるいは土を用いる。

特有の危険有害性

火災によって刺激性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

可燃性物質：燃えるが、容易に発火しない。

特有の消火方法

ガスの滞留しない場所で風上より消火し、漏洩防止処置を施す。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、空気呼吸器を含め防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護
具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

漏洩場所を換気する。

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照）

を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

希积水は汚染を引き起こすおそれがある。

封じ込め及び浄化の方法及び
機材

危険でなければ漏れを止める。

少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。

二次災害の防止策

大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

**技術的対策
安全取扱注意事項**

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
換気の良い場所で取り扱うこと。
眼、皮膚又は衣類に付けないこと。
取扱い後はよく手を洗いうがいをする。
使用前及び捨てる前に、容器に表示されている「使用上の注意」を必ず
読んで、正しく使用すること。
火気注意。

**接触回避
衛生対策**

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
『10. 安定性及び反応性』を参照。
取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

特別に技術的対策は必要としない。
『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管温度：5～35℃
日光から遮断すること。
湿気厳禁。
容器を密閉して保管すること。

安全な容器包装材料

包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
非晶質シリカ	—	—	—
メチルオキシムシラン	—	—	—
メチルエチルケトンオキシム	—	—	—
ビニルオキシムシラン	—	—	—
アルコキシシラン [アルキル(C1～20)]	—	10ppm(85mg/m3)	TWA 10 ppm, STEL -

設備対策

換気をしながらご使用ください。
本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい。
局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具

情報なし

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态

その他

形状

ペースト状

色

乳白色半透明

臭い

オキシム臭

pH

データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲

情報なし

引火点

61℃以上 (セタ密閉式)

燃焼又は爆発範囲

下限

データなし

上限

データなし

比重(密度)

1.03 g/cm3 (25℃)

溶解度

水に難溶

自然発火温度

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

情報なし

化学的安定性

通常の条件下では安定である。

危険有害反応可能性	空気中の水分と反応し、徐々に可燃性のメチルエチルケトオキシムを放出しながら硬化する（但し、密閉状態での危険性は殆どない）。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	酸化性物質、その他一般的な混触禁止物質との混触を避ける。
危険有害な分解生成物	燃焼などによりCO等の有害ガスを発生する恐れがある。

1 1. 有害性情報

急性毒性

経口

経口：アルコキシシラン LD50ラット 2400mg/kg
 :メチルエチルケトオキシム LD50ラット>900mg/kg (オス及びメス)

経皮

経皮：アルコキシシラン LD50ウサギ>2000mg/kg 16ml/kg
 :メチルエチルケトオキシム LD50ウサギ>1000mg/kg (オス及びメス)

吸入

吸入：アルコキシシラン LC50ラット1.49-2.44mg/l/4h
 :メチルエチルケトオキシム LC50ラット>4.83mg/l、4hr (オス及びメス)

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

中刺激性（ウサギ） [アルコキシシラン]

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

重篤な眼の損傷。 [ビニルオキシムシラン]
 強い眼刺激。 [メチルオキシムシラン]

呼吸器感受性又は皮膚感受性

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 [ビニルオキシムシラン] [メチルオキシムシラン]
 [メチルエチルケトオキシム]

生殖細胞変異原性

陽性（ギニアピッグ） [アルコキシシラン]

発がん性

陰性（Ames試験・染色体異常・小核試験） [アルコキシシラン]

生殖毒性

発がんのおそれの疑い。 [メチルエチルケトオキシム]
 分類結果は生殖毒性一区分外となるが、分類できない成分が約95%含まれるため生殖毒性一分類できないとした。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

データなしのため特定標的臓器毒性（単回暴露）一分類できないとした。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

長期にわたるまたは反復暴露により下記の臓器に影響を与える可能性が有る。

造血系。 [メチルオキシムシラン]

造血系。 [ビニルオキシムシラン]

造血系。 [メチルエチルケトオキシム]

吸引性呼吸器有害性

40℃動粘性率が20.5mm²/sより大きいため吸引性呼吸器有害性一区分外とした。

その他

製造時の副生物として本品に少量含まれ、又空気中の水分と接触して硬化する時に徐々に生成するメチルエチルケトオキシムの有害性
 皮膚刺激性：軽度の刺激性あり。

眼刺激性：強い刺激性あり。

急性毒性：経口LD50=4ml/kg（ラット）

:吸入LC50=>4.8mg/l/4h（ラット）

吸入毒性：高濃度で一時的な麻酔作用あり。その他血液機能への影響あり。

皮膚感受性：陽性（ギニアピッグ、但し人では陰性）

神経毒性：高濃度で一時的な運動機能低下（ラット）

発がん性：高濃度（375ppm）でのラット及びマウスの生涯試験（約2年）でオスのみに肝腫瘍が観察された。

その他の長期暴露試験：嗅覚上皮細胞の退化が観察された。（ラット、マウス）

許容濃度 メチルエチルケトオキシムの暴露ガイドライン: 3 ppm (TWA)、
10 ppm (STE1) AIHA WEE1 (米国産業衛生学会、作業環境暴露レベル) : 10 ppm (TWA)

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 (急性)

アルコキシシラン
魚類 LC50 魚 (Brachydanio rerio) 597 mg/L、96 hr
甲殻類 EC50 オオミジンコ 81 mg/L、48 hr
NOEC オオミジンコ >1mg/l、48 hr
藻類 Ebc50 緑藻 (serenastrum capricornutum) 5.5 mg/L、72 hr
Erc50 緑藻 (serenastrum capricornutum) 8.8 mg/L、72 hr
メチルエチルケトオキシム
魚類 LC50 ファットヘッドミノウ (pimephales promelas) 777-914 mg/L、96 hr

水生環境有害性 (長期間)

アルコキシシラン
魚類 LC50 魚 (Brachydanio rerio) 597 mg/L、96 hr
甲殻類 EC50 オオミジンコ 81 mg/L、48 hr
NOEC オオミジンコ >1mg/l、48 hr
藻類 Ebc50 緑藻 (serenastrum capricornutum) 5.5 mg/L、72 hr
Erc50 緑藻 (serenastrum capricornutum) 8.8 mg/L、72 hr
メチルエチルケトオキシム
魚類 LC50 ファットヘッドミノウ (pimephales promelas) 777-914 mg/L、96 hr

生態毒性

水生生物に毒性。長期継続的影響によって水生生物に毒性。 [アルコキシシラン]

残留性・分解性

水生生物に有害。 [メチルエチルケトオキシム: 不純物]

オゾン層への有害性

大気中または水中で容易に加水分解する。 [アルコキシシラン]

その他

データなし

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

一般廃棄物として処理する。

チューブや少容量プラスチック容器製品で一般廃棄物とする場合は次のように分別し、回収または廃棄処分する。 普通ゴミ・可燃物 (紙類、プラスチック・ゴム) 普通ゴミ・不燃物 (金属、ガラス・陶磁器) 普通ゴミ・不燃物 (雑物)

1 4. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報

該当しない

UN No.

該当しない

Marine Pollutant

Not applicable

Transport in bulk

Not applicable

according to MARPOL

73/78, Annex II, and the

IBC code

航空規制情報	該当しない
UN No.	該当しない
国内規制	
陸上規制	消防法、労働安全衛生法、毒物劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送方法に従うこと。
海上規制情報	該当しない
国連番号	該当しない
海洋汚染物質	非該当
MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	該当しない
国連番号	該当しない
特別の安全対策	『7. 取扱い及び保管上の注意』の記載に従うこと。 容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）
消防法	指定可燃物 可燃性固体類
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項

16. その他の情報

連絡先	『1. 化学物質等及び会社情報』に記載。
参考文献	J I S Z 7 2 5 3-2 0 1 2 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) J I S Z 7 2 5 2-2 0 1 4 GHSに基づく化学物質等の分類方法 経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス (平成25年7月) 一般社団法人 日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン (2012年6月) 日本ケミカルデータベース(株) SDS作成システム「ロジスト」により作成。
その他	SDSの伝達の経路:安全データシート(SDS)は原則として次の経路で最終取扱事業者様へ伝達されます。恐れ入りますが、未入手の場合のSDSの御請求や最新版の問い合わせは、販売ルートを通じてお申し出下さい。【メーカー⇒代理店⇒取扱い事業者】 法改正や製品の改良によりSDSを改訂する場合がありますので、作成・改訂日が2年以上たっている場合は最新版であるかどうか御確認下さい。 以前にお渡しした本製品の安全データシートをお持ちの方は破棄して下さい。 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
前版からの変更点	「1. 化学品及び会社情報」に変更があります 「2. 危険有害性の要約」に変更があります 「3. 組成及び成分情報」に変更があります 「5. 火災時の措置」に変更があります 「6. 漏出時の措置」に変更があります 「7. 取扱い及び保管上の注意」に変更があります 「8. ばく露防止及び保護措置」に変更があります 「9. 物理的及び化学的性質」に変更があります 「11. 有害性情報」に変更があります 「12. 環境影響情報」に変更があります 「16. その他の情報」に変更があります